

中之条

中之条町の四万温泉協会(関良則会長)は13日、同協会事務局に、高崎市を拠点とする

技術者チームと連携して製作した四万温泉のオリジナルキャラクターの縫いぐるみ型ロボット3体 \parallel 写真 \parallel を設置した。

設置したのは、同温泉の摩耶姫伝説を基にしたキャラクター「摩耶姫ちゃん」と、供をするカモシカの「く

四万温泉協会

ロボットが案内役

らっぽ、キジバトの「しまっぽ」。ボタンを押すと、くらっぽとしまっぽが、温泉街の各所でひな人形やつるし雛を展示する「摩耶姫祭り」(15日～3月15日)をPRする音声流れる。高崎市を拠点とする技術者集団「チーム・よかロボット」と1年ほどかけて開発した。

将来的には会話型ロボットに発展させ、温泉の旅館や商店を紹介したり、各旅館での案内役や中之条ビエンナーレなど近隣イベントでのガイド役を務めたりすることを目指す。

同協会地域づくり委員会の中沢まち子委員長(57)は「親しみやすいアニメ的キャラクターを活用し、四万温泉のにぎわいにつなげたい」と期待を寄せる。チーム・よかロボットの沢田稔さん(71)は「縫いぐるみ型ロボットを自転車に取り付け、音声で地域を案内するなど活用法を発展させた」と話した。

